

登録有形文化財（建造物）旧端出場水力発電所保存活用計画（案）
に対する意見募集の結果について

平成29年1月25日
新居浜市企画部別子銅山文化遺産課

- 1 意見募集期間 平成28年12月26日（月）～平成29年1月20日（金）
- 2 意見提出人数 個人 1人
- 3 意見提出件数 3件
- 4 意見の概要と意見に対する考え方

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方
1	旧端出場水力発電所の敷地内に移設されてきた水車があるが、多くの市民、観光客が発電所の水車と勘違いをする。水車をしかるべき所に移設すべきである。	この保存活用計画（案）を検討する中でも議論となり、旧端出場水力発電所には直接関係がないため、他の適切な場所へ移設を検討しております。
2	旧端出場水力発電所横のヒマラヤ杉が屋根の高さより随分高くなり、雨樋にゴミ等が溜まり、通気もよくない。マイントピア別子側からの景観も極めて良くないため、伐採すべきである。（伐採が難しいなら、剪定をしていただきたい。）	高木化している2本のヒマラヤ杉については、維持管理面や危険木となることを防ぐために、適切な時期に剪定や伐採について、所有者と検討することとしております。
3	旧端出場水力発電所外壁は、戦争中被災を免れるため、コールタールを塗って迷彩色にしたようであるが、明治45年建設当時の鮮やかな煉瓦色としていただきたい。	保護の方針として、保存年代の設定を昭和52年とし、当初の姿とともに変遷した過程を保存することとしております。求められた役割に従って建物の戦時中の変遷した過程も残すため、このコールタールは現状保存としております。 なお、外壁の洗浄は、実施いたします。